

佐賀建設新聞

発行所
株式会社 建設新聞社
〒849-0301
小城市牛津町乙柳1145-7
Tel 0952-66-5750 (代)
FAX 0952-66-5751
購読料 月額5,775円(税込)
毎週火・木・土曜日発行
社団法人日本専門新聞協会会員
ホームページ
<http://www.kensetsunews.co.jp>
e-mailアドレス
kssaga@lime.ocn.ne.jp

工法の普及に向け講習会開催

原理「経済的で競争力がある」 事長

ミラクルソル協会



と、佐賀大学低平地沿岸海域研究センターの荒木宏之教授が講演した。ミラクルソルは、空き瓶などの廃ガラスを粉砕して発泡材を混合し、800～900度で焼成して作る「多孔質間隙構造」の軽量・強固な新素材。製造条件により複数の性質を持ち合わせ、吸水性・保水性を持つタイプは、水質浄化の過材のほか、斜面緑化や屋上緑化、透保水性舗装工法の保水材などとして活用。非吸水性のタイプは、軽量盛土材・軽量コンクリート二次製品の骨材や、軽量コンクリート吹き付け工、地盤改良材、雑草防止剤などに利用できる。

緑化、環境土木、水環境の各分野での活用を提案するとともに、国や地方公共団体発注工事での適用事例などを説明した。同協会の顧問を務める荒木教授は、「多機能性再生材料ミラクルソルの

環境問題解決への貢献」をテーマに講演した。ミラクルソルが持つ高い浄化性能の分析結果を示した上で、水質の改善や生物の生息環境の向上に大きく貢献している現状について語った。

ガラス廃材を再資源化した多目的環境材料「ミラクルソル」の有効利用を提案するミラクルソル協会(原裕理事長)写真)は26日、ミラクルソルを用いた各種工法の建設分野での普及・展開に向け、東京都港区の建築会館で第14回技術研修会を開いた。行政や建設企業、コンサルタントの技術者らが参加。開発者である原理事長(佐賀県、日本建設技術社長・工学博士)

し、800～900度で焼成して作る「多孔質間隙構造」の軽量・強固な新素材。製造条件により複数の性質を持ち合わせ、吸水性・保水性を持つタイプは、水質浄化の過材のほか、斜面緑化や屋上緑化、透保水性舗装工法の保水材などとして活用。非吸水性のタイプは、軽量盛土材・軽量コンクリート二次製品の骨材や、軽量コンクリート吹き付け工、地盤改良

材、雑草防止剤などに利用できる。原理事長は、「経済的で環境に優しい、競争力のあるミラクルソル工法を展開することで、地球環境の保護・保全に貢献できる。皆さんの仕事にも役立てていただきたい」とあいさつした。国土交通省河川局防災課の貫名功二水防企画官が、「河川行政に関する最近の話題」について特別講演。国の災害復旧事業の概要と、復旧工事の際の環境配慮の考え方などについて話した。

原理事長は「新地盤材料ミラクルソルの活用技術」について解説。ミラクルソルの「クラスター構想」と銘打って、環境